

「3.11伝承ロード」と被災地の未来

～ 教訓が、いのちを救う～

参加
無料

定員500名

日時

令和元年12月11日(水)
13:00～16:00(受付は12:00～)

会場

日立システムズホール仙台 シアターホール
(仙台市青年文化センター) 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

3.11伝承ロード 主な震災伝承施設

9月末現在の登録施設数は計200件



東日本大震災の発生から8年半以上が経過し、被災地では震災の実情や多くの命が助かった貴重な教訓を伝える震災伝承施設が数多く整備されています。

「3.11伝承ロード」はこれら施設をネットワーク化し、東日本大震災の教訓を学ぶ活動を通じて、国内外の人々と交流することで防災力の向上と、被災地の活性化をめざすものです。

講演会では、被災地の現状と課題を見つめ、「3.11伝承ロード」の被災地の未来に果たす役割について考えます。

「教訓が、いのちを救う」 ～東北に与えられたミッション～

基調講演



徳山日出男 氏
政策研究大学院大学客員教授
元国土交通省事務次官

「『3.11伝承ロード』と被災地の未来」

〈コーディネーター〉 徳山日出男 氏

パネル討論

〈パネリスト〉



今村 文彦 氏
一般財団法人3.11伝承ロード推進機構代表理事
東北大学災害科学国際研究所所長



山本 正徳 氏
岩手県宮古市長



佐藤 克英 氏
震災伝承ネットワーク協議会会長
国土交通省東北地方整備局長

※「一般財団法人3.11伝承ロード推進機構」は、東北地域づくり協会と東北経済連合会が震災伝承を推進するため、令和元年8月1日に設立しました。
※本講演会は土木学会CPD(継続教育)認定プログラムです。【2.5単位】

〈主催〉 一般社団法人東北地域づくり協会、河北新報社
〈後援〉 国土交通省東北地方整備局、一般社団法人東北経済連合会、東北建設業協会連合会、公益社団法人土木学会東北支部、一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北測量設計協会、一般財団法人みちのく創生支援機構、一般財団法人3.11伝承ロード推進機構、日刊建設工業新聞社、日刊建設産業新聞社、日刊建設通信新聞社、建設新聞社



参加申し込みは、裏面をご覧ください。

令和元年度 東北地域づくり講演会

「3.11伝承ロード」と被災地の未来

～ 教訓が、いのちを救う～

日時

令和元年12月11日(水)
13:00～16:00(受付は12:00～)

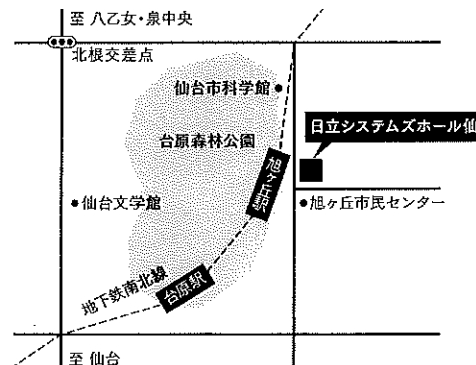
会場

日立システムズホール仙台 シアターホール
(仙台市青年文化センター) 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

会場案内

- ① 仙台市地下鉄でおいでの方
仙台駅から市営地下鉄南北線・泉中央方面行き10分、「旭ヶ丘駅」下車、東1番出口より徒歩3分。
- ② バスでおいでの方
仙台市営バスのバス停「旭ヶ丘駅」より徒歩2分。
- ③ お車でおいでの方
東北自動車道「仙台宮城I.C.」を降り、仙台北環状線経由約30分
東北自動車道「泉I.C.」を降り、国道4号線、県道仙台泉線経由約30分

仙台市は「緑クルマ都市」づくりに取り組んでおります。
ご来館の際はなるべく公共の交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。



参加申し込み

郵便番号、住所、氏名、ふりがな、電話番号、参加希望人数(3人まで)を明記し、
Eメール、FAX、はがきのいずれかでお申し込みください。
応募多数の場合は抽選とし、聴講券の発送をもって発表に代えさせていただきます。

※お預かりした個人情報は適切に管理し、本講演会の管理のみに使用します。

申し込み先

河北新報社事業部『「3.11伝承ロード」と被災地の未来』係

- ✉ Eメール j-oubo@po.kahoku.co.jp
- ☎ FAX 022-211-1221
- ✉ はがき 〒980-8660 河北新報社事業部(住所記載不要)

※いずれも宛て先に「3.11伝承ロード」と明記してください。※お席に余裕がある場合、当日も受付致します。

申込締切

令和元年
11月30日(土)
必着

お問い合わせ 河北新報社事業部 ☎022-211-1332(平日10:00～18:00)

必要事項をご記入の上、このままFAXにてお送りください。

ご住所 〒	
(聴講券郵送先)	
ご氏名 フリガナ (ご本人)	年齢
歳	
電話番号 ()	参加希望人数
名	

FAXお申し込み番号
『「3.11伝承ロード」と被災地の未来』係

022-211-1221